

山行報告書

三島勤労者山岳会

通算山行N0		N0・613		報告者	後藤 隆徳
年 月 日		92・10・30 (金) ~ 11・01 (日)			
山 行 名		秋山個人山行			
山 名		霞沢岳 (日本二百名山・2646m)、甲斐日向山 (1670m)			
標高差・困難度		上高地~霞沢岳=1146m、登り=5H+4H、季節=積雪期...上級			
走行距離		下土狩~上高地=300Km			
コース タイム	10/30	下土狩19:00~上高地23:30 (泊)			
	/31	起床4:30~出発6:30-二俣10:20-コル直下11:50 -下山開始12:00-上高地15:30~甲斐駒ヶ岳神社駐車場20:30 (泊)			
	11/01	起床5:30~出発7:30-不動の滝9:20-日向山11:00 ~12:15-駐車場13:45~葦の湯~下土狩21:30			
参加者 役割分担	CL	後藤隆徳	45	竹内伸江	
		白井聖男	37		
		岩谷俊彦	30		
		渡辺保代	45		
10/30	雨の中出発。上高地に着くと非常に寒く、雨はミズレになった。バスターミナルの中にテントを張らしてもらった。軽く飲んで寝るが、夜中に車が行き来し、うるさくて眠れなかった。				
10/31	雨は止み曇も切れてきたので出発。帝国ホテル向かいの笹藪を分け、右手に向かうと八右衛門沢に出た。沢は荒れ、滝、ガレ場を幾つも越える。一ヶ所、ガレ場でザイルを使用した。昨夜の雪がチラホラ。全員元気。二俣で右にしようか左にしようか迷ったが、基本通り左の本流を取る。雪が多くなり沢の中心では、ピッケルがスッポリ入ってしまう。ちょっと雪崩が気になる。K1と霞沢岳のコルが見えた。もう少しだが、天気は好転せずガスの中に入る。大きな岩塔が沢の真ん中にあり、良い目標になった。コル直下の急なガレ場を登る。雪混じりの強い風が吹き寒い。完全な冬山になる。ここから霞沢岳まで1H、徳本峠まで4H。稜線はラッセルもあるだろう。時間的にとても無理になった。12時コル直下で下降を決定。コルから2Pザイルを使い下降。後は順調に下山した。上高地に着いたが雨は止んでいない。明日好天なら徳本峠越えも考えたが、保証はないので、坂巻温泉に入り、暖かい「南」の山に行こうと決定。日向山で紅葉狩りと洒落込み、甲斐駒ヶ岳神社駐車場に向かった。				
11/01	さすが「南」は暖かく、天気もよい。尾白川溪谷の紅葉は素晴らしい。不動の滝より中尾根をグングン登り一旦林道に出て、日向山に向かう。日向山は「白ザレ」が美しく展望も申し分なかった。人気のある山で今日は随分混んでいる。枯葉がしきつめられた陽光の雑木林で、ビールとブランデーをいただき1H昼寝をし至福の時を過ごす。下山後、葦の湯で入浴し帰静した。				
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1、この時期穂高山域を登るには、こちらを午後出発位でないと無理がある。 2、天候が悪くなくとも、K1のコルには遅くとも11時には到着したい。 3、日向山はバスハイクに良い山である。 4、 5、 				